

仲 支援センター事業の見直しと改善を

関係者と十分協議し事業運営を行う

市長



日本共産党市会議員団 仲 絹枝 議員

問 発達支援センターでの日中一時支援事業を行っているNPO法人のスタッフが怪我をした。事業所は労災保険にも入っていないが、事業所に対する指導は行ったのか。また、センター事業の全般的な見直し、改善を行うべきと考え

市長 発達支援センターの運営は、より効果的な運営方法、組織体制のあり方を検証し、ステップアップをした運営について協議を積み重ねる。

部長 労働基準監督署と協議し、労働保険の加入を強く指導。現在は加入した。

障害者支援施設の具体的な将来像を

問 支援施設は定員を超過したり、ほぼ定員一杯という現状の中で、来年度以降の施設のあり方を早急に検討するべきでは。

れ、これまで維持してきた給食の質が低下しないか。

教育長 10月から給食業務の配送・配膳業務を公共的団体に外部委託する。委託方式の共同調理場でも良質な給食の提供に努める。



発達支援センター

定めていない。

働きやすい子育て環境整備を

問 子どもの発熱で仕事を中座し、保育所に迎えに行く現状の打開策は。

部長 多様な保育ニーズに沿った保育環境の整備など総合的に判断し、旧町ごとで検討したい。

松尾

目的と効果を示せる事業推進を求める

市長



松尾 武治 議員



本町区画整理事業

問 市が事業主体で行っている本町区画整理事業の全体像が見えてきたが、再びにぎわいが取り戻せるのか、市民の皆さまから不安の声が届いている。市は、にぎわいを取り戻すためには、どのような施設が必要だと考えているのか。また、完成後の流入人口など具体的な見解は。

市長 市民の皆さま方と市が連携を取りながら、にぎわい再生に取り組みたい。

問 目的、効果を質したが具体的に答えられないので「目的・効果」がない事業に多額の投資をしたことにつながる。

長期の事業で、状況も変わるが、所期の目的は何か。また市内全域や他町から園部町本町への来訪人数

部長 人口が減少する中で、交流人口が示されるようになったが、今日の段階では交流人口の目標数値は

など基礎的な計画数値は。

市長 関係地権者や関係市民の皆さま方の理解を賜る中で事業完了に向け取り組む。

大町

サルによる被害が深刻。対策を

市長



丹政会 大町 功 議員

問 サルによる被害が深刻化している。檻を設置し、早急な捕獲と、威嚇用のモデルガンや花火を各集落へ貸与すべきと考えるが。

市長 府内各地でも大きな問題である。対応に努力しているが大変苦慮しているのが現状。檻の設置やモデルガン、花火等に課題もあるが、府と連携をとり施策の実施に取り組む。

狩猟免許講習、試験については、近隣市町や府との

関係の中で実施に向けて取り組んでいく。

地上デジタル放送への対応は

問 来年7月に完全移行となるが、高齢者への周知徹底など円滑な移行に向けた市の取り組みは。また、75

歳以上の高齢者世帯や支援を必要とされる世帯への地デジ対応チューナーの無償給付の考えは。

また、園部地域の完全光ケーブル化の進捗よく状況は。

市長 府による説明会や相談センターを開設されているが、高齢者や情報が届いていない方に国の支援制度を含めた周知徹底が重要課題であると認識し、対応する。

園部の光ケーブル化は今年度中に計画策定する。



西本梅地域で出没するサル



人権研修会

矢野

人権問題を重点施策に

市長



南風クラブ 矢野 康弘 議員

さらなる推進に努力する

問 人権教育及び啓発の施策は、法により事業経費を国、府が4分の3を負担。この制度を積極的に活用し、事業を実施すべきである。

市長は3月の施政方針や市長選挙公報、6月補正予算の施政方針にも人権尊重に関するものは何も入っていない。それほど人権尊重は政策に値しない軽微なものなのか。

市内には多くの方がたが関わって事業を推進して

いるが、市長はもっと人権問題を重視し、重点施策に置くべきと考えるが。

市長 十分反省した上で課題に取り組む。人権啓発、教育のさらなる推進に努力する。市民と連携しながら、継続的に地道に取り組んでいく。

木崎北中央線の道路拡幅を

問 園部町木崎町地内に食品スーパー「さとう」が進出する。町内から行くにはこの道路が近いが公共施設の利用者で混雑し、また幅が狭い。拡幅と商店街の活

園部川の改修を

問 根固めブロックが洗掘され流出している。改修を。

市長 園部川の安全確保は重要。府と連携し努力する。